

立憲民主党と公明党は  
1月15日に  
中道改革連合という  
新党をつくることで  
合意しました。

## 生まれ育った ふるさとのために 未来を生きる 子どもたちのために



私は愛知県蒲郡市に生まれ育ち、これまでずっと愛知14区内で暮らしてまいりました。私が政治に興味を持ったのは中学生の頃です。政治汚職事件が相次ぎ、「こんな政治は良くない」、「もっとみんなのためになる政治を」と強く感じました。政治と金の問題に加えて、消費税導入による生活者の負担増など複数の要因が重なり、平成元年の参院選で政治体制が大きく変わりました。「マドンナ旋風」が巻き起こり、多くの女性国会議員が誕生。その生活に根ざした言動や活躍に憧れを覚え、政治家を目指すきっかけとなりました。歴史は繰り返し、政治資金パーティー券をめぐる裏金問題をきっかけに、令和6年衆院選・令和7年参院選で国民は声をあげ、政治は大きく変わりました。今、私たちの前には、「失われた30年」と言われる長期にわたる経済の停滞、進む少子高齢化・人口減少、地震や気候変動による自然災害、緊迫する世界情勢など対応しなければならない課題が山積みです。私は、市議・県議として約20年間、皆様とともに歩んでまいりました。同時に子を育てる一人の親として、子育て・教育について悩み、学んできました。皆様に鍛えて頂いた「現場主義」で、この国の課題解決に立ち向かってまいります。未来を生きる子どもたちが、日本の将来に希望を持てるように、皆様とともに精一杯、力を尽くします！

おおたけりえ



## PROFILE

**生い立ち** おおたけりえ  
●大嶽理恵／昭和52年生まれ  
●豊川市在住、蒲郡市出身  
●蒲郡市立竹島小学校・蒲郡中学校卒業  
●愛知県立時習館高等学校卒業  
●南山大学法学部法律学科卒業

**主な役職**  
●立憲民主党愛知県第14区総支部長  
●豊川市ソフトバレーボール協会 会長  
●JAM東海政策推進議員  
●豊川市女性防火クラブ 会員  
●豊川青年会議所 OG・相談役  
●豊川市商工会議所顧問 青年部・女性部会員

**趣味**  
●バレーボール ●ソフトテニス  
●茶道 ●Yoga ●スポーツ観戦

**座右の銘** ●先憂後楽 「先んじて課題に対処して、後に楽しむ」  
政治を行うもののあるべき姿を説いた言葉

**政治歴**  
●衆議院議員島さとし秘書  
●衆議院議員鈴木克昌秘書  
●平成19年～豊川市議会議員(2期)  
●平成27年～愛知県議会議員(3期)  
●令和6年～衆議院議員(1期)  
内閣委員会 委員(令和6年10月～7年10月)  
総務委員会 委員(令和6年10月～7年10月)  
農林水産委員会 委員(令和7年11月～)  
政治改革特別委員会 委員(令和7年11月～)

SNSで日々の活動を発信しています！



おおたけりえ

検索



おおたけりえ事務所

〒442-0854 豊川市国府町流霞 59-2  
TEL0533-80-1055 FAX0533-80-1056  
https://www.ootakerie.jp



協力党员(サポーターズ)募集中！

ホームページからメールによるお申し込みもできます。



りえ  
おおたけ

立憲民主党愛知県第14区総支部長

豊川市  
蒲郡市  
新城市  
幸田町  
設楽町  
東栄町  
豊根村

小さな声を  
大きな力に





ともに助け合う  
社会的実現を目指すし、  
社会的格差の解消に  
全力で取り組みます！



# 安心して暮らし、働き、 “成長する社会”をつくる

## 物価高に負けない 所得・賃金向上にむけて

頑張るあなたを応援！  
人への投資で日本経済の  
活力を生み出します

50年以上“暫定”と言われながら続いてきた岩盤規制の一つである「ガソリン暫定税率」の廃止を、野党7党が結束して与党に迫り、令和7年秋の臨時国会において、ついに廃止が決まりました。次は、家計に直結する消費税の減税です。食品消費税を時限的に0%とするとともに、低・中所得者に対して税金のキャッシュバックとなる「給付付き税額控除」を進めます。

実質賃金を上昇させ、手取りを増やすために、企業利益が人件費や中小企業の価格転嫁にまわりやすい新たな税制を創設し、企業の賃上げ環境を後押しします。また性別・年齢・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金を実現します。

若者に対し奨学金の返済減免、介護・保育・医療従事者などのエッセンシャルワーカーの賃金を向上させるなど、徹底した「人への投資」を推進します。

## 国を支える産業育成、 環境・エネルギー対策

日本の食料安全保障を強化し  
毎日の食卓を守ります

今、日本の農家の平均年齢は67.6歳、食料自給率が4割を下回っているのが現状です。

このままでは、私たちの食卓に安定的に食料を供給できる体制が崩れかねません。農林水産業は、その生産活動を通じて、国土・自然環境の保全、集落の維持・発展、地域文化の伝承等、多岐にわたる機能を発揮しています。こうした重要な役割を担っている農林水産業の持続的・安定的発展を図るため、これまでの農政を大転換し、「食料確保・農地維持支払制度」と新たな新規就農対策で農村を振興し、日本の食料安全保障を強化します。

## 環境と成長が調和する 持続可能な社会へ

日本が世界をリードする水素技術、次世代の太陽光電池ペロブスカイト、国産材によるバイオマス発電の普及等を支援し、脱炭素化と産業振興の両立を目指します。太陽光パネル技術において他国に追い抜かれてしまった反省を生かし、研究開発投資を大幅に引き上げます。

## 少子高齢化・人口減少に 立ち向かう

子育てで世代支援・  
教育の充実で  
少子化に歯止めを

子育てにかかる費用は社会全体で負担するという考えのもと、給食費・教材費・修学旅行費等の教育費負担を軽減します。ひとり親家庭の貧困問題の解消を図り、子どもへの貧困と格差の連鎖を断ち切ります。幼児教育の義務教育化による一元化を行い、



質の確保につながる保育職の処遇を改善します。

グリーンゾーンを含む発達障がい等の支援体制の充実、障がい児福祉所得制限の撤廃、不登校児童生徒対策、部活動支援員の大幅拡充など、家庭と教育現場における支援体制を強化します。

次世代を生き抜く力をつけるデジタル教育を民間の力を活用して充実させます。

## セーフティネットとしての 福祉・医療・年金 制度を守ります

地方が直面している医師不足に対し、偏在是正を進めるとともに、医療職・介護職の処遇改善を進めます。

若者が将来の不安を感じることはないよう、年金制度の持続可能性を向上させる一元化を目指します。

孤独・孤立対策を進め、地域で見守る福祉ネットワークを充実させます。



## 3水柱 その2 元気で活力ある“地方”をつくる

### 生活を支えるインフラ整備・防災減災対策

#### 地方分散型社会の実現に向けて

都市部に比べて遅れがちな中山間地域の情報通信基盤整備に加えて、AI活用等デジタル人材の育成を徹底的に進め、地方に居住しながら都市部と同様の仕事ができる環境づくりを進めます。国産クラウドサービス、国産ドローン開発支援・活用推進等を通じて、日本の競争力を強化します。本社のある自治体にメリットが大きい現在の地方交付税制度はテレワーク時代の実態を反映していません。交付税制度を改革し、地方の発展に必要な費用を捻出します。

### 計画的なインフラの老朽化対策・適正管理推進と防災力の強化

ドローン等先端技術を活用し、道路・橋・上下水道などの老朽化対策を計画的に進めます。防災・災害の専門人材を活かせるよう、国の防災部署とNPO等民間団体との連携を強化します。避難所における生活環境のレベルアップを図ります。また災害時に障がい者及びその家族のストレスを減らすため直接避難できる福祉避難所の増設を推進します。広域連携等による行政の効率化やDXを推進し、行政コストを削減します。

## これまででも、これからも地域課題に対応する地元事業を応援します！

### 繋ぐ・結ぶ、道路事業の推進

- ◎新東名6車線化、東名豊橋新城スマートIC(仮称)事業の推進
- ◎国道23号線の4車線化による渋滞緩和の早期実現
- ◎東三河環状線(当古工区)の早期実現
- ◎国道151号線一宮バイパスと宮下立体(五社稲荷周辺)の早期実現
- ◎姫街道八幡工区4車線化と宮地病院前踏切のアンダーパス化の早期実現
- ◎大塚金野線による23号線とラグーナをつなぐ縦ラインの早期実現
- ◎国道247号中央バイパス・鹿島バイパス4車線化の早期実現
- ◎三遠南信道路・月バイパス(設楽町・東栄町)等の早期実現 など



これから皆様とともに  
小さな声を  
大きな力に

### 気候変動を考慮した治水水利事業、河川・港湾整備の推進

- ◎設楽ダム事業の推進
- ◎小坂井高校橋を流れる善光寺川の改修と調整池による雨水対策の早期実現
- ◎豊川金沢霞堤付近の水害対策の充実
- ◎河川・橋梁改修の継続推進(佐奈川・音羽川・白川・西田川・落合川・拾石川・広田川等)
- ◎幸田町菱池遊水池整備、矢作川沿岸地区水利事業等の促進
- ◎蒲郡港岸壁の拡充整備
- ◎御津臨港道路整備推進 など



### 地元経済に活力を与え、人の流れを生み出す事業の推進

- ◎豊橋駅発新幹線ひかりの増発促進
- ◎愛知御津駅・西小坂井駅の橋上化推進
- ◎蒲郡駅前・東港開発や豊川稲荷御開帳を機とする周辺整備事業など歩いて楽しいまちづくりの推進

### 地方経済を支える商工業の振興

- ◎新工業団地事業の推進
- ◎中小・小規模事業者への価格転嫁支援・事業承継支援の充実
- ◎省力化技術としての防災ドローン・物流ドローン等の利用環境整備と積極活用推進
- ◎空き家バンクの充実と管理不全空き家対策 など

### 安心して子育てできる環境づくり

- ◎新城市民病院再整備など地域医療を担う施設整備・人の確保
- ◎児童クラブの充実と障がい児加配の拡充
- ◎放課後デイサービスの質の確保
- ◎民間と連携したキャリア教育・プログラミング教育の充実
- ◎不登校相談の充実と親支援、フリースクールへの公費補助促進
- ◎公立高校の定員割れ防止のため、特色ある学校ヘリニューアルと校舎修繕の促進 など

### 三河地域の農林水産業の振興

- ◎みかん、いちご、柿、トマト、大葉、花きをはじめとした地域の特産品の振興
- ◎農業・漁業・林業者の若手育成支援の充実、有休農地・農業用空きハウスのマッチング支援充実
- ◎有機・無農薬農業の推進と地産地消・オーガニック給食導入促進
- ◎森林環境贈与税の積極活用による県産材の有効活用拡大促進
- ◎地場産業であるアサリの再興を目指し、三河湾の養殖環境改善
- ◎三河の地場産業である三河木綿の全国発信と繊維産業振興
- ◎鳥獣害(シカ・イノシシ・クマ)対策の充実とジビエの普及拡大 など



### 文化を守り、受け継ぐ活動を応援

- ◎長篠・設楽原など史跡保護、三河地域の手筒花火・山車、奥三河の花祭り等の文化伝承と観光振興
- ◎三河地域を知り、三河地域のもの食す「ガストロノミーツーリズム」の推進 など

## 3水柱 その3 急激に変化する国際情勢に柔軟に対応できる国内の体制をつくる

### 国を守る外交・安全保障

#### 変化する国際情勢に合わせて外交力・防衛力を強化します

憲法は、国民の権利や自由を守るために、国家権力を縛る手段であるとの理解のもと、平和憲法の理念を尊重し、専守防衛の中で国際協力を進めるとともに、外交力を強化します。外交・安全保障分野において一番大事なことは「戦争をしないこと」です。厳しさを増す安全保障環境に対応するため、サイバー防御・ドローン(無人航空機)技術開発等、時代に合わせて防衛力を強化します。

### 成長に向けた投資と財政健全化のバランス

#### やりたい政策を実現するために、常に財源確保を考えます

積極財政の考えのもと、赤字国債を発行して新規投資を促すことには、バランスは必要であるものの概ね賛成です。しかし、そのお金の使い道には、まだまだブラッシュアップが必要です。地方にきちんとお金がまわらなければ、せっかくの投資が活かされません。私たちは、予算を積んで使い切れなかった基金に更に予算を積み、金利負担を増やすようなお金の使い方の改善や、ピンハネ構造となっている事業の委託先の見直しなど、予算の使い方に対する改善提案をしております。野党がしっかりチェックし改善提案をすることで、予算の使い方がレベルアップすると考えています。



### 国会改革・政治改革の推進

#### 健全な野党として、あなたの声を国政に届けます

政治と金の問題がうやむやにされ、改善に至っていないとの認識のもと、企業・団体献金の廃止、政治資金パーティーの廃止を求めています。私は、企業団体献金やパーティー券による献金がなくても政治活動が十分にできることを証明していきます。国民の代弁者である国会議員は、皆様と同様の金銭感覚をもって議論をするべきです。政治家が信頼されるには、政治家自身が自分たちを規制する政治資金規正法や公職選挙法などのルールを決めるのではなく、諮問機関等を設置して議論し、そのもとで改善をしていくのがあるべき姿と考えます。令和6年衆院選・令和7年参院選を経て、女性の国会議員は増えておりますが、皆様の家庭や職場と比べると、まだ十分とは言えません。当事者不在で議論を進め、国としての重要な方向性を決められないよう、小さな声を拾い上げ、国政に届けてまいります。



### 格差を放置しない社会へ

私は、「健全な野党」の一翼としての役割をしっかりと果たしてまいります。そしてその先には、「政権交代が一番の政治改革である」の思いで、野党結集による政権交代を目指します。長年積み重なった利権や政治と金の構造を変えるには、政権交代が一番の処方箋です。保守中道を軸としつつ、他党と連携し、自党には絶対にできない新しい政策・改革に取り組み、信頼と安定感ある「政権を担わせてみたい」と思って頂けるような勢力をつくれるよう、活動を行なってまいります。

衆議院議員に当選させて頂いてから1年3ヶ月が経過しました。初めて参加した国会は、衆議院において15年ぶりに与党が過半数を割るという状況の中、年収130万円の壁や高額療養費をはじめとした野党提案による予



詳しくは



算修正、50年もの間岩盤規制として続いてきたガンリン暫定税率の廃止など、与野党が互いに政策を出し合い協力して国会を運営する、民主主義のあるべき姿とも言える国会がありました。しかし一方で、大企業優遇と言われている租税特別措置制度の見直しなど、現与党では変えられない積年の課題は、まだまだ存在します。

私自身の活動としましては、1年目は地方創生や経済問題を担当する総務委員・内閣委員として、市議・県議としての約20年間の活動経験をもとに地方が抱える課題や、中小企業の価格転嫁による賃金上昇、男女賃金格差の解消などの経済的な課題に取り組みました。

2年目の昨年11月からは、農林水産委員として、地元愛知14区内の農林水産事業者の皆様とヒアリングを重ね、そのお声を政策に結びつける活動に取り組んでいる真っ最中です。

**まだまだ取り組みたいことばかり。皆様の声に寄り添った活動、ぜひ教えてください！**